

2012 アートマイル 報告書

日本学校名 [多摩市立東愛宕中学校] 担当教諭名 [大塚 雄史] (美術部 7名)

交流相手国 [キルギス]

海外学校名 [Humanitarian Lyceum] 担当教諭名 [Builiasheva Aksalkyn, 石川 敦子(JICA)]

■実施教科・時間数について教えてください。

実施教科・時間数	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した時間 (総合は外国語活動、環境 など内容が分かるように 必要に応じて行を追加して ください)	部活動(美術部)	国際理解	25

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	キルギスと日本をつなごう
絵に込めたメッセージ	キルギスや日本の自然、季節、文化を紹介し合い、二つの国がこれからも交流していけるようなかけ橋になりたい。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・交流を重ねるごとに、生徒に積極性が出てきた。 ・日本や多摩について調べ、改めて自分達の住む地域の良さに気がつくことができた。 ・テレビ会議を通して、相手を思いやる気持ちをもって交流することができた。(言葉遣い、タイミング、話し方など) ・JICA の方の協力もあり、多くの方に支えられている意識が芽生えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・美術部だけでなく、多くの生徒の参加や他の教科との連携を深めていきたい。 ・テレビ会議の手段の確保(機材、セキュリティーの問題から、Skype 以外の方法に変更しなければならない可能性があります。) ・予算の確保(次年度までは確保できそうですが、継続していく上で、予算の出所が厳しくなりそうです。)

■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
<ul style="list-style-type: none"> ・キルギスから送られてきた写真の掲示 ・連合作品展における作品や交流の様子の写真展示 ・ユネスコスクール地域交流会や多摩市シンポジウム、多摩市教員研究会などにおける作品(昨年度作品)展示 	<p>校内のみならず、他校の教員からの取り組みについて、質問などがあつた。保護者や地域の方から多くの声援がありました。多摩市教育委員会からもシンポジウムなどで作品を展示してほしいと要望がありました。</p>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	6月	・自己紹介、地域紹介の作成	初めてのことにに対する興味と照れくささが入り混じた状態であった。地域紹介を考える時に、改めて自分達が地域について知らない、または考えていないことに気がついていた。しかし、後に地域の良さに気がつくことができた。	部活動
情報収集	9月	・キルギスについての調べ学習(インターネット) ・テレビ会議による交流	インターネットで調べ学習を行うより、テレビ会議で直接、聞くことができたことがきっかけとなって、より興味をもって取り組むことができていた。テレビ会議では、話し方、言葉遣い、身振りなど多くのことを学んでいた。	部活動
テーマ検討	10月	・作品テーマについて話し合い ・相手先への提案 ・制作分担と構図の決定	テーマの話し合いから相手先への提案へと交流が進むにつれて積極的に取り組むようになっていった。	部活動
制作	11月	・下描き ・描画 ・制作途中のテレビ会議による交流	進行が押していたため、短期集中で制作を進めていったが、毎日、放課後に制作に取り組んでいた。テレビ会議で制作中の作品を相手先に紹介したことで、より制作に励んでいた。作品を送る時には手作りのプレゼントを用意するなど、大きな達成感を得ることができた。	部活動
鑑賞	3月	・テレビ会議による観賞(予定)	これから作品が日本に返送されてくるが、作品が届く前にもテレビ会議による交流を希望している。	部活動

■学習目標と成果はどうでしょうか？

つきたい力・指導目標	重視	先生の手応え	そう感じた場面・理由
自文化の理解	4	⑤・4・3・2・1	フォーラムやテレビ会議で交流した後、作品のテーマについて生徒同士で話し合っている時、「多摩市って自然が豊かなんだ」とで話し合っていた。作品の中にもその点が盛り込まれていた。
異文化の理解		5・4・3・②・1	まだ、外国や初めてのことにに対する興味が中心で、異文化に対する理解は今後の課題である。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	1	⑤・4・3・2・1	今年度はテレビ会議が実施できたことで、生徒は話し方、言葉遣い、タイミング、身振りなどの大切さに気がついた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	5	5・4・③・2・1	今年度は、初めて参加する生徒のみだったので、教員主導の活動となった。この経験を次年度につなげていきたい。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)		⑤・4・3・2・1	もともと仲の良い生徒の集まりであったが、作品制作を通して、よく話をするようになった。交流相手とも進んで話をするようになったが、より日常的な内容についても話ができるようになってよい。
協働する力 (役割分担・協力)	2	⑤・4・3・2・1	壁画の制作だけでなく、テレビ会議や市内の研究会での発表などにも、自分達で話し合い、役割分担を決めることができていた。
学習を追究する意欲		5・④・3・2・1	初めての取り組みに戸惑いながらもよくやっていた。追求する点は次年度の課題としたい。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	3	⑤・4・3・2・1	大きな作品に取り組み、各段に表現力が高まった。壁画制作を終えてからの通常の美術の授業での取組に変化が表れた。
作品を鑑賞する力		5・4・③・2・1	自分の考えを言葉にすることに苦手意識があり、観賞する力には課題が残った。しかし、絵を描く力が向上するにつれて、作品を観るポイントが理解できるようになれば変化が出てくると考えている。